

2019 年度活動助成 活動実績報告書

| | |
|-------|-----------------------------|
| 団体名 | 災害時要配慮者救援NPOLレスキューアシスト |
| 活動テーマ | 大規模災害時における小型重機の活用に関する体験・講習会 |



大規模災害時における小型重機の活用に関する体験・講習会

2019年6月1日～2日の二日間、初心者向けの重機体験講習会を他団体と連携して行いました。

災害発生時に重機エキスパートは欠かせません。重機一台でボランティアの人力作業の何十人分の力を発揮することができ、復旧作業に大きな役割を果たすことができます。

講習会では二日間に渡り延べ60名の参加者が重機操作を体験しました。当初、講師は5名の予定でしたが賛同いただいた講師陣が日本全国から集まり、少人数グループに対し講師が一名就くことで、きめ細やかな指導ができたと思います。男性だけでなく女性の参加も多く見られ、また参加することができなかった方々から次回の開催を要望する声も多く、関心の高さを感じる講習会となりました。

今後ますます増えていくと予想される自然災害、特に南海トラフ地震に対する備えとして、エキスパートボランティアとして良い経験ができたのではないかと思います。

屋根の応急処置活動が少し落ち着きを見せ始めたこの段階で、次を見据えた講習会を開催することができたことは大変有意義であったと思います。

2019 年度活動助成 活動実績報告書

| | |
|-------|------------------------|
| 団体名 | 災害時要配慮者救援NPOLレスキューアシスト |
| 活動テーマ | 高所活動安全管理スキルアップ講習会 |



高所活動安全管理スキルアップ講習会

2019年6月8日に「高所活動安全管理スキルアップ講習会」を開催しました。

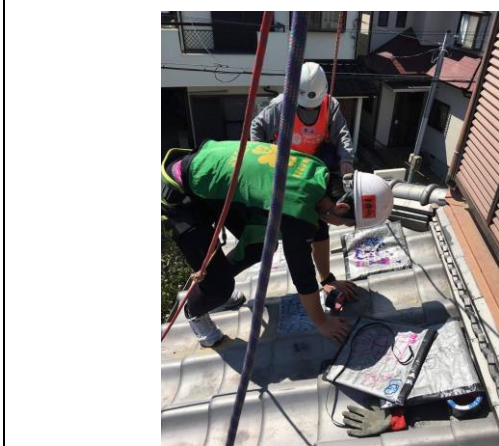
屋根の上での作業は大変危険を伴います。そのため日頃から安全活動のための技術を常に研究し、高所作業経験者による講習会などを行ってきました。ボランティアのそれぞれの技術力の向上とともに、作業全体を把握し安全に活動するためのリーダーを養成するための研修会を、助成金を利用して開催いたしました。

活動現場を安心して任せられることができるリーダーの存在により、より多くの被災家屋の応急処置を行うことができ、すなわち迅速な復旧へとつながります。レスキューアシストでは事故やけがのない安全な作業こそがボランティア活動の一番重要な点だと考えております。屋根上の作業経験を充分積んでいるベテランのボランティアに対し安全訓練を実施、少人数ならではの内容の濃い、充実したものになりました。

今後ますます増えていくと予想される自然災害、特に南海トラフ地震に対する備えとしても、より多くの「リーダーシップをとることのできる」ボランティアが必要になっていくと思われまます。屋根の応急処置活動が少し落ち着きを見せ始めたこの段階で、次を見据えた講習会を開催することができたことは大変有意義であったと思います。

2019 年度活動助成 活動実績報告書

| | |
|-------|--|
| 団体名 | 災害時要配慮者救援NPOレスキューアシスト |
| 活動テーマ | 大阪北部地震・台風 21 号での被害に対する継続的な支援(ブルーシート張り活動) |



2018 年 6 月に発生した大阪北部地震及び 9 月に関西を直撃した台風 21 号の被害に対して継続的な屋根のブルーシート張り活動を行いました。

ブルーシートは劣化するため3～6か月程度で張替えを行う必要が出てきます。経済的な理由や災害弱者といわれる高齢者や障がい者の方々を中心とした屋根の修理ができないの方々に対して、継続的な張替え活動を行いました。茨木市内を中心に周辺市部で一般ボランティアさんの対応できない案件や、台風 21 号の被害の大きかった大阪府南部にも活動の場を広げて行いました。

ブルーシートで覆うほどの被害ではない屋根には簡単に補修ができ長持ちする「アシスト瓦」を考案し、ボランティアさんの安全対策にも役立てることができました。

発災から一年過ぎてもボランティアの存在を知らず、劣化したブルーシートの下で雨漏りの中生活をされている災害弱者の方を拾い出すために、現地調査をローラー作戦で行い隠れた案件の掘り起こしにも努力をしました。

この活動を通して現在活動の中心となっている千葉県での台風 15 号・19 号に対する支援活動の基盤ができたと思います。多くの知恵と労力を注いでくださったボランティアさんに感謝しております。